ロンスタン インフレータブルブームテントの正しい使用と取付けの説明

1) ボートを風上に向けます。マスト側からブームの上にブームテントを置きます。マストにブームテントの前を付属のロープとバックルで固定します。
2) ブームテントの両脇、風上のひもをシュラウド（サイドステー）とライフラインにゆるく固定します。
3) 付属のハンドポンプを使用して風上側のチューブの“AIR IN VALVE”位置から空気を注入します。（最大膨張率　=0.3barもしくは4.5psi）
4) 慎重にボートの後部に向かって展開します。テント後端をロープを使用してライフラインとバックステーに固定します。
5) 風下のチューブの“AIR IN VALVE”位置でふくらませ、テントを引くロープを張ります。この段階でブームテントに張力をかけ過ぎないよう注意してください!
6) テント後部中央のフックとループスロットを開け、スロットを通しトッピングリフトまたはメインのハリヤードに供給し、ブームの後端側に再接続します。
7) ライフラインの上段にテントのサイドのロープを固定します。
8) ブーム下部にロープを固定し、ブームテントをブームにしっかり固定します。
9) 全てのひもが正しく張っているか確認し、それに応じて調整します。
10) あなたのブームテント取り外す時には、逆の手順で作業します。

注意

風が急に強くなった場合(16 ノットの最大を超えている)には、至急、ブームテントを取り外してください。すばやく'AIR OUT VALVE'位置のバルブを抜き、固定ロープと“quick release”バックルを外します。ブーム・テントの風下端から風上へ作業します。

メンテナンス

このブームテントは防水材料で作られています。しかしながら、継ぎ目はテープを貼っていません。それゆえ、テントは完全に防水ではないかもしれません。雨のなかでこのブームテントのシェルターを楽しむために、キャンプのテントで使われるような‘防水’材料で、テントと継ぎ目を定期的にメンテナンスしてください。

修理

内部の空気袋の修理が必要なときは、穴のあいたアーチリブの腹部を上向きにし、平らな状態でおきます。リブ先端の閉じているフックとループをあけ、空気袋の先端をひっぱり広げます。再挿入に備えて十分な長さのロープを空気袋の一端に結びつけます。再び取り付けるときに楽なように、マーカーペンを使って左、右、上、下に空気袋アーチをマークします。今度は反対側から空気袋を慎重に引き抜きます。そして‘再挿入の為のロープ’を引き入れます。‘再挿入の為のロープ’を空気袋から分離します。ハンドポンプで空気袋をふくらませ、マイルドな食器用洗剤を使用したせっけん水とスポンジを使用してパンク穴を検出します。

空気袋を掃除して、乾かします。穴をマーカーペンでマークし、空気袋（エアーチューブ）を収縮させます。紙やすりを使用して、修理領域をわずかに粗くサンディングします。修理パッチから裏面をはがし、空気袋に平らに貼り付けます。空気袋をふくらませ、漏れがないか再び確認します。空気袋をしぼませAIR IN/OUT VALVEを閉じ、十分なタルカムパウダーと一緒に乾いた空気袋をプラスチックバッグの中におきます。パウダーが完全に空気袋を覆うようによくバッグをふります。

‘再挿入の為のロープ’を空気袋の一端に結び、空気袋をリブへ再挿入するために‘再挿入の為のロープ’を注意深く引きます。

最初に付けたマークに従って、空気袋が正しい方向か確認してください。空気袋が適切に挿入されるようにリブ上で張力を維持します。空気袋がリブの中に戻ったら、エアーバルブがバルブホールを適切な位置にあるか確認します（簡単なアクセスのためにリブ上の隣接したジッパーを開けます）。半分、空気袋をふくらませ、再設置が正しく行われているか確認します。もしリブ（エアーチューブ）にしわがあったり、バルブの位置が間違っていたら、空気袋の再挿入をやめてください。空気袋に損害を与えるかもしれない時はリブの中にある空気袋の問題を正さないでください。

空気袋が正しく挿入されたら、‘再挿入の為のロープ’をリブ（エアーチューブ）から離します。空気袋の両側をリブの先端に巻き入れ、フックとループフラップを閉じます。

輸入元：マリンサービス児嶋株式会社